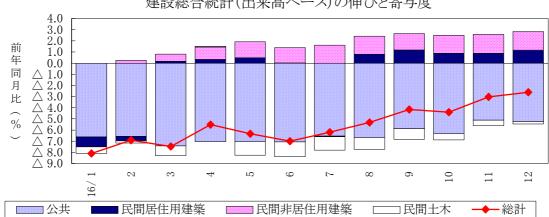
# 1. 建設投資の概況

# (1) 建設総合統計(出来高)

12月の建設総合統計を出来高でみると、全体で5兆1,403億円と対前年同月比2.6%減少した。 公共は、建築が 2,923 億円(前年同月比 13.4%減)、土木が 1 兆 9,197 億円(同 10.7%減)となり、 全体では2兆2,120億円(同11.1%減)となった。

民間は、建築が 2 兆 4,062 億円 (同 6.7%増)、土木が 5,221 億円 (同 2.2%減)となり、全体では 2兆9,284億円(同5.0%増)となった。



建設総合統計(出来高ベース)の伸びと寄与度

(単位:億円)

	、区 分							
		総計	・ 民間 建築			土木	公共	
年度	年月				居住用	非居住用		
年	14年度	590,754	316,025	256,751	182,603	74,148	59,273	274,730
	15年度	553,431	317,379	257,091	182,294	74,798	60,288	236,052
度								
月	16年 9月	46,521	29,333	24,511	17,163	7,347	4,823	17,188
	10	49,257	29,691	24,733	17,192	7,541	4,958	19,566
	11	49,865	29,000	24,133	16,660	7,473	4,866	20,865
次	12	51,403	29,284	24,062	16,599	7,464	5,221	22,120
							<del>(</del> <del>1</del>	时前年比、%)
年	14年度	$\triangle$ 5.5	$\triangle$ 4.6	$\triangle 3.9$	$\triangle$ 3.5	$\triangle$ 5.0	$\triangle$ 7.6	$\triangle$ 6.4
	15年度	$\triangle$ 6.3	0.4	0.1	$\triangle 0.2$	0.9	1.7	△ 14.1
度								
	15年12月	$\triangle$ 8.4	$\triangle 2.2$	$\triangle$ 2.2	$\triangle 2.4$	△ 1.8	△ 1.9	$\triangle$ 14.5
	16年 1月	△ 8.1	$\triangle 3.0$	$\triangle 2.3$	$\triangle$ 3.2	$\triangle$ 0.1	△ 6.1	$\triangle$ 13.1
月	2	$\triangle$ 6.9	$\triangle 0.7$	$\triangle 0.4$	$\triangle 1.4$	2.0	△ 1.8	△ 13.4
	3	$\triangle$ 7.5	$\triangle 0.1$	2.1	0.6	5.4	△ 7.1	$\triangle$ 15.2
	4	$\triangle$ 5.5	2.7	3.2	1.1	8.3	0.6	△ 16.0
	5	$\triangle$ 6.3	1.1	3.7	1.3	9.6	△ 10.2	△ 19.3
	6	$\triangle$ 7.0	0.1	2.7	0.1	9.4	△ 11.3	△ 19.4
	7	$\triangle$ 6.2	0.6	3.0	$\triangle 0.1$	11.3	△ 10.4	△ 17.8
	8	$\triangle$ 5.3	2.3	4.8	2.2	11.5	$\triangle$ 9.6	$\triangle$ 17.1
	9	$\triangle 4.2$	2.9	5.6	3.5	10.7	$\triangle$ 8.7	△ 14.2
次	10	$\triangle$ 4.4	3.5	5.5	2.7	12.3	$\triangle$ 5.5	△ 14.3
	11	$\triangle 3.0$	3.8	5.8	2.8	13.2	△ 5.0	△ 11.2
	12	$\triangle 2.6$	5.0	6.7	3.9	13.4	$\triangle 2.2$	
累計	4月~12月	△ 4.8	2.5	4.6	2.0	11.2	△ 6.9	

資料:国土交通省「建設総合統計」

注) 平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行いました。

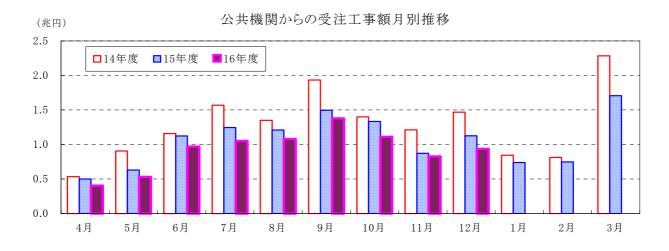
# (2) 公共機関からの受注工事

12 月の公共機関からの受注工事額(1 件あたり 500 万円以上の工事が対象。以下同じ。)は、国の機関 2,710 億円(前年同月比 同 20.2%減、10 ヶ月連続)、地方の機関 6,646 億円(同 15.6%減、18 ヶ月連続)となり、全体で 9,355 億円(同 17.0%減、24 ヶ月連続)となった。

工事分類別でみると、住宅・宿舎(同 20.1%増、寄与度+0.8)、廃棄物処理(同 89.0%増、寄与度+0.6)等が増加し、道路(同 17.3%減、寄与度-5.2)、農林水産(同 30.1%減、寄与度-2.2)等が減少した。

さらに発注機関・工事分類別でみると、国の教育・病院(寄与度-2.3)、都道府県の農林水産(寄与度-1.6)のマイナス寄与度が大きい。

12月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比18.2%減少(先月の増加から再び減少)した。



公共機関からの受注工事(対前年比、%)

			玉	の機	関	地	方	の	機関	
	区分	総計			国以外		都道	市区	地方	
年度	[年月		小 計	国		小 計			公 営	その他
					の機関		府 県	町 村	企 業	
年	平成13年	△ 8.5	△ 4.3	0.4	△ 9.8	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.3	△ 7.4	△ 18.1
	14	△ 8.1	△ 11.2	△ 2.9	△ 21.9	△ 6.7	△ 6.2	$\triangle$ 5.6	△ 10.6	△ 13.1
度	15	△ 17.5	△ 14.3	△ 18.8	△ 6.9	△ 19.0	△ 22.4	△ 15.0	△ 22.1	△ 20.5
	15年12月	△ 23.1	△ 12.9	△ 17.1	△ 8.2	△ 26.9	△ 17.5	△ 37.9	18.4	△ 22.9
	16年1月	△ 12.1	△ 2.8	△ 14.0	15. 7	△ 16.5	△ 21.4	△ 5.7	△ 27.2	△ 20.2
月	2	△ 7.8	3.6	△ 10.3	28. 2	△ 15.5	△ 10.7	$\triangle$ 10.4	△ 39.8	△ 31.8
	3	$\triangle$ 25.1	△ 21.6	△ 27.2	△ 6.9	△ 29.5	△ 37.6	$\triangle$ 20.4	△ 25.8	6. 1
	4	△ 19.1	△ 10.3	△ 19.5	8.5	△ 24.5	1. 1	△ 41.7	△ 28.1	24.4
	5	△ 15.8	△ 24.3	△ 33.1	△ 10.8	△ 12.4	△ 12.0	△ 11.2	△ 24.1	△ 9.7
	6	△ 13.7	△ 1.9	△ 28.8	40.6	△ 16.6	△ 14.8	△ 15.1	4.4	△ 53.8
	7	△ 15.6	△ 0.7	△ 14.2	10.9	△ 19.9	△ 38.0	△ 5.8	△ 32.7	0.1
	8	△ 10.9	△ 11.9	△ 23.2	0.3	△ 10.5	△ 6.4	△ 13.2	△ 2.6	△ 26.8
	9	△ 7.8	△ 13.8	△ 28.1	6.5	△ 5.5	△ 6.5	△ 6.4	△ 12.0	22.8
次	10	△ 16.6	△ 5.3	△ 14.3	7. 6	△ 20.7	△ 12.6	△ 27.8	6.3	△ 59.1
	11	△ 5.3	△ 3.3	△ 31.2	34. 3	△ 6.1	△ 9.4	4. 2	△ 16.7	△ 40.0
	12	△ 17.0	△ 20.2	△ 8.2	△ 32.4	△ 15.6	△ 15.6	△ 15.2	△ 28.6	6.3
累計	4月~12月	△ 13.1	△ 10.2	△ 21.9	4. 9	△ 14.2	△ 14.1	△ 13.5	△ 14.8	△ 19.8

資料 : 国土交通省「建設工事受注動態統計」

# 機関別受注工事額の推移 ○ 20.0 ○ 20.0 ○ 20.0 ○ 40.0

政府建設投資関連指標

(実数、億円)

		公共機関から	うの受注工事		前払請負	出来高	公的固定
	総計	〔国の機関〕	〔地方の機関〕	大手50社	額(※)	(総合統計)	資本形成
14年度	154,699	48,741	105,957	34,546	179,080	274,730	300,253
15	127,314	41,531	85,783	30,400	154,589	236,052	272,290
16年 I 期	31,942	15,960	15,982	11,056	30,901	62,122	79,083
П	19,048	5,196	13,851	3,714	37,824	39,813	45,887
Ш	35,080	9,204	25,876	6,728	39,013	45,349	53,083
IV	28,734	8,559	20,175	5,972	31,306	62,551	69,004,
16年7月	10,511	2,784	7,727	2,009	13,364	13,256	
8	10,786	2,819	7,967	2,039	12,061	14,905	
9	13,783	3,602	10,182	2,680	13,588	17,188	
10	11,113	3,347	7,766	2,036	12,558	19,566	
11	8,266	2,502	5,763	1,904	9,697	20,865	
12	9,355	2,710	6,646	2,032	9,051	22,120	

(対前年比、%)

		公共機関から	うの受注工事		前払請負	出来高	公的固定
	総計	〔国の機関〕	〔地方の機関〕	大手50社	額 (※)	(総合統計)	資本形成
14年度	△ 8.1	△ 11.2	△ 6.7	△ 9.6	$\triangle$ 7.2	-	△ 6.3
15	△ 17.5	△ 14.3	△ 19.0	△ 12.0	△ 13.7	△ 14.1	$\triangle$ 9.3
16年 I 期	△ 18.7	$\triangle$ 14.5	$\triangle$ 22.6	$\triangle$ 2.1	△ 18.8	△ 13.9	$\triangle$ 1.6
П	$\triangle$ 15.5	$\triangle$ 11.5	$\triangle$ 16.9	$\triangle$ 20.5	$\triangle$ 10.4	△ 18.0	$\triangle$ 15.5
Ш	△ 11.2	$\triangle$ 9.6	$\triangle$ 11.7	△ 17.6	$\triangle$ 12.4	△ 16.3	$\triangle$ 14.5
IV	△ 13.8	△ 10.1	$\triangle$ 15.3	△ 8.3	△ 15.2	△ 12.2	△ 10.2
15年12月	△ 23.1	△ 12.9	$\triangle$ 26.9	△ 23.4	△ 14.1	$\triangle$ 14.5	/
16年1月	△ 12.1	$\triangle$ 2.8	$\triangle$ 16.5	5.5	$\triangle$ 16.6	△ 13.1	/
2	△ 7.8	3.6	$\triangle$ 15.5	△ 14.1	$\triangle$ 10.5	△ 13.4	/
3	$\triangle$ 25.1	$\triangle$ 21.6	$\triangle$ 29.5	0.4	$\triangle$ 22.7	$\triangle$ 15.2	/
4	△ 19.1	$\triangle$ 10.3	$\triangle$ 24.5	△ 40.3	$\triangle$ 8.8	△ 16.0	/
5	△ 15.8	$\triangle$ 24.3	$\triangle$ 12.4	△ 9.4	$\triangle$ 23.2	△ 19.3	/
6	△ 13.7	$\triangle$ 1.9	$\triangle$ 16.6	△ 15.8	$\triangle$ 2.2	$\triangle$ 19.4	/
7	△ 15.6	△ 0.7	△ 19.9	△ 7.8	$\triangle$ 20.6	△ 17.8	
8	△ 10.9	△ 11.9	$\triangle$ 10.5	△ 18.3	$\triangle$ 2.6	△ 17.1	/
9	△ 7.8	△ 13.8	$\triangle$ 5.5	△ 23.2	$\triangle$ 11.4	△ 14.2	/
10	△ 16.6	$\triangle$ 5.3	$\triangle$ 20.7	△ 11.0	$\triangle$ 22.4	$\triangle$ 14.3	
11	$\triangle$ 5.3	$\triangle$ 3.3	△ 6.1	9.6	$\triangle$ 4.2	$\triangle$ 11.2	
12	△ 17.0	$\triangle$ 20.2	$\triangle$ 15.6	△ 18.2	△ 14.6	△ 11.1	/
16年度累計	△ 13.1	$\triangle$ 10.2	$\triangle$ 14.2	$\triangle$ 15.2	$\triangle$ 12.6	$\triangle$ 15.1	

資料:国土交通省「「建設工事受注動態統計」、内閣府「四半期別国民所得統計速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共事業前払保証統計」注)公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※)公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、前払請負額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

# (3) 住宅

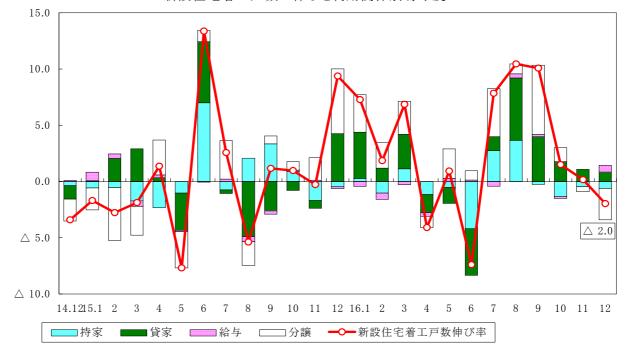
12 月の着工は 98,849 戸。対前年同月比でみると、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少したため、全体で 2.0%減少 (6ヶ月ぶり)した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成 16 年 1-3 月期 1,203 千戸(前期比 1.9%増)、4-6 月期 1,147 千戸(同 4.7%減)、7-9 月期 1,228 千戸(同 7.0%増)、10-12 月期 1,183 千戸(同 3.7%減)となった。

新設住宅着工戸数	(戸、	対前年比	• %)

	区 分								
	\	総戸数	総計		家	貸家	分譲	住 宅	
		, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, = ,,,		公 庫	, ,,		マン	季節調整値
年度	:年月				融資			ション	(年率換算)
年	13年度	1, 173, 170	△ 3.3	△ 13.9	△ 44.3	5. 8	△ 0.7	2. 1	総戸数
	14	1, 145, 553	$\triangle$ 2.4	△ 3.1	△ 56.7	2.8	△ 8.1	△ 11.0	(千戸)
度	15	1, 173, 649	2.5	2.1	△ 31.5	0.9	5.6	2.0	
	15年12月	100, 826	9.4	△ 1.5	△ 19.0	10.5	20. 2	30. 9	1, 210
	16年1月	88, 797	7.3	1.0	△ 18.8	10.8	10.3	6. 0	1, 221
月	2	84,950	1.9	△ 3.3	△ 19.4	3. 2	7.4	2. 3	1, 169
	3	93, 285	6. 9	3.4	△ 18.7	8. 0	10.6	5. 1	1, 197
	4	96, 178	△ 4.1	△ 3.4	△ 31.2	△ 4.4	△ 3.5	△ 11.0	1, 131
	5	98, 889	0.9	△ 1.6	△ 35.4	△ 3.5	10.2	9. 9	1, 171
	6	106, 582	△ 7.4	△ 11.8	△ 44.4	△ 10.5	3. 4	4.8	1, 191
	7	106, 462	7.8	8. 1	△ 39.8	3. 3	15. 5	15. 7	1, 233
	8	102,070	10.5	10.5	△ 43.5	15. 1	3. 2	△ 10.2	1, 188
	9	108, 281	10.1	△ 0.8	△ 59.0	10.2	23. 4	32. 7	1, 247
次	10	106, 145	1.5	△ 4.5	△ 65.1	4.4	4.3	3. 1	1, 187
	11	98, 561	0.2	△ 1.6	△ 69.4	2.6	△ 1.5	△ 8.4	1, 152
	12	98, 849	△ 2.0	△ 2.2	△ 63.5	2. 1	△ 8.9	△ 17.7	1, 185
累計	4月~12月	922, 017	1.7	△ 1.1	△ 50.7	1.8	4. 7	1. 1	_

新設住宅着工戸数の伸びと利用関係別寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計」

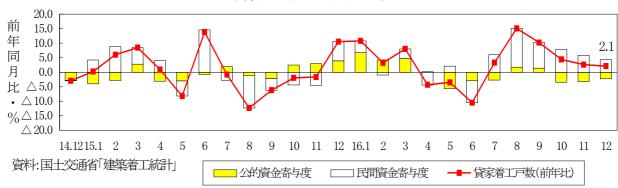
### <持家>

12月の着工は 26,896 戸。 北陸、中部、四国、九州では増加、その他の地域では減少し、<u>全体では前年同月比 2.2%減少(4 5 7 88 88 戸で同 88 88 戸で同 88 88 88 88 88 88 88 <math>8 88 88 88 88 88 <math>8 88 88 88 88 88 <math>8 88 88 88 <math>8 8</u>



### <貸家>

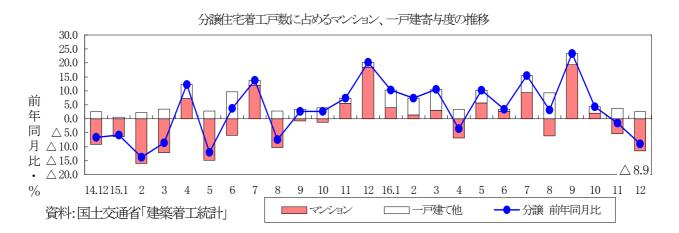
12月の着工は 42,025 戸。北海道、東北、関東、四国では減少、その他の地域では増加し、<u>全体では前年同月比 2.1%増加(6 ヶ月連続)した。公的資金による貸家は 5,821 戸で同 13.8%減少(3 ヶ月連続)し、民間資金による貸家は 36,204 戸で同 5.2%増加(6 ヶ月連続)した。</u>



貸家着工と資金別寄与度の推移

# <分譲>

12 月の着工は 28,712 戸。東北、中部、近畿、中国、四国、九州では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 8.9%減少(2 ヶ月連続)した。マンションは 16,838 戸で、首都圏 (7,951 戸、前年同月比 39.4%減、3ヶ月連続)は減少、中部圏(1,083 戸、同 11.5%減、2 ヶ月連続)は減少、近畿圏(3,638 戸、同 6.9%増、4 ヶ月連続)は増加、その他の地域(4,166 戸、同 53.3%増、7ヶ月連続)は増加し、全体では同 17.7%減少(2 ヶ月連続)した。一戸建住宅は 11,517 戸で、同 7.1%増加(25 ヶ月連続)した。



### (4) 民間非居住建築

12月の着工床面積は482万㎡で前年同月比0.6%増加(13ヶ月連続)した。

着工床面積を使途別にみると、事務所は 51 万㎡で前年同月比 12.7%減少 (先月の増加から再び減少)、店舗は <math>86 万㎡で同 8.4%増加 (先月の減少から再び増加)、工場は <math>96 万㎡で同 2.8%増加 (14 ヶ月連続)、倉庫は <math>52 万㎡で同 15.0%減少 (先月の増加から再び減少) した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成 16 年 12 月実施)で<u>平成 16 年度の設備投資計画</u>をみると、<u>製造業 (大企業) は前年度比 23.4%増加 (平成 15 年度同 5.4%増加) となり、非製造業 (大企業) は同 1.1%増加 (平成 15 年度同 0.1%減少)となった。また、全産業 (大企業) の生産・営業用設備判断 D I (過剰-不足)をみると、「最近」は 3、「先行き」は 2 となり、先行きの設備過剰感はやや減少する見込みとなっている。</u>



(対前年比、%)

	区分		床	工事費予定額							
年度	年月 人	総 計	事務所	店 舗	工場	倉 庫	総 計	事務所	店 舗	工場	倉 庫
年	13年度	△ 10.7	△ 2.5	△ 29.9	△ 25.4	△ 6.7	△ 4.8	2.3	△ 19.4	△ 26.5	$\triangle$ 6.4
	14	△ 2.9	△ 16.6	23. 9	△ 16.4	△ 7.0	$\triangle$ 9.2	△ 25.2	11. 1	△ 20.2	△ 12.8
度	15	8.0	11. 2	2.5	13. 7	9.4	8.8	25. 1	△ 5.0	16.8	17. 3
	15年12月	22.4	93. 1	△ 8.1	16. 1	24.8	27. 1	149. 7	5.0	3. 7	50. 2
	16年1月	12. 1	66. 5	△ 30.5	20. 1	22. 7	29. 3	191. 7	△ 21.0	33. 3	25. 9
月	2	19.3	40.8	24.6	26. 2	35. 3	20.8	74. 9	11.9	49. 7	<b>75.</b> 2
	3	35. 9	65. 1	34.0	22. 7	60.8	61.3	220.4	17.9	31.5	75. 7
	4	17. 6	△ 26.5	31. 1	66.3	54.9	1. 7	△ 33.1	21.5	114.6	58.8
	5	4. 4	△ 21.1	38. 7	43. 2	△ 0.5	$\triangle$ 6.7	$\triangle$ 46. 7	24. 5	54. 4	4.6
	6	21. 1	△ 2.9	40. 1	26. 5	26.4	20. 1	△ 0.2	27.6	33.0	30. 3
	7	20.9	24. 5	6.2	29. 2	32.8	23. 7	31. 5	6.3	20.4	69. 5
	8	26. 5	58.8	4.2	21. 2	54.6	24. 4	106.4	$\triangle$ 1.0	11.3	45. 4
	9	12.9	$\triangle$ 5. 2	△ 19.7	87.0	$\triangle$ 15.3	20.6	△ 1.8	2.8	181. 2	△ 28.8
次	10	16. 3	△ 2.5	30.4	45.6	$\triangle$ 4.1	14. 7	5. 2	27. 7	76.0	△ 12.0
	11	17.8	28.8	△ 9.2	36.9	19. 1	4.9	37.0	$\triangle$ 6.2	15. 9	16. 2
	12	0.6	△ 12.7	8.4	2.8	△ 15.0	△ 6.3	△ 40.4	3.8	10. 5	△ 22.3
累計	4月~12月	15. 3	3. 2	13. 3	38. 3	14. 4	10.7	2.8	11.4	49.9	11. 9

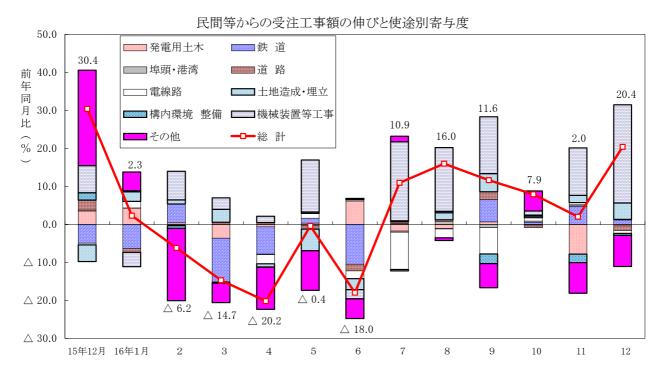
資料:国土交通省「建築着工統計」

# (5) 民間等からの受注工事(土木工事および機械装置等工事)

12月の土木工事及び機械装置等の受注工事額(1件あたり 500万円以上の工事が対象。以下同じ。)は2,420億円で、前年同月比 20.4%増加(6ヶ月連続)した。

発注者別でみると、製造業(前年同月比 56.1%増、寄与度+14.0)、電気・ガス・熱供給・水道業(同 12.8%増、寄与度+3.1)等が増加し、卸売・小売業(同 50.1%減、寄与度-1.6)、その他(同 44.5%減、寄与度-1.3)が減少した。

工事種類別でみると、機械装置等工事(寄与度+25.8)、土地造成・埋立工事(寄与度+4.3)等が増加し、管工事(寄与度-6.2)、その他の土木工事(寄与度-1.6)等が減少した。



(対前年比、%)

		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成• 埋立	構内環境 整備	機械装置等 工事
年	13年度	△ 1.3	△ 1.9	△ 4.4	△ 31.5	△ 20.4	28. 4	13. 2	10.3	△ 1.3
	14	△ 10.6	△ 21.1	10.8	83.0	△ 25.4	△ 22.9	△ 38.4	△ 26.7	△ 8.9
度	15	1. 4	2. 5	△ 8.2	△ 34.1	7.8	5. 6	0.6	41.0	△ 1.7
	15年12月	30. 4	154.6	△ 21.6	41.0	203. 3	△ 3.1	△ 33.7	72.6	19.8
	16年1月	2.3	196. 7	△ 28.0	3. 8	△ 44.0	12. 1	46. 7	11. 1	△ 10.7
月	2	△ 6.2	32. 9	24. 3	0.3	△ 17.0	△ 0.4	16. 5	△ 24.7	19. 1
	3	△ 14.7	△ 51.8	△ 30.8	△ 30.4	92.8	△ 2.8	154. 6	△ 4.2	7. 2
	4	△ 20.2	△ 54.5	△ 39.3	△ 16.9	62. 1	△ 16.5	△ 12.5	△ 2.1	6. 2
	5	△ 0.4	14. 5	14. 2	△ 27.2	△ 54.8	12. 6	△ 46.3	8.2	43. 1
	6	△ 18.0	238. 7	△ 44.6	56. 4	△ 79.9	△ 16.5	△ 38.6	12.3	△ 7.3
	7	10.9	△ 49.2	1.4	△ 27.5	38. 2	△ 41.0	△ 4.5	6.9	68. 0
	8	16. 0	△ 42.8	△ 0.7	249. 3	36. 4	△ 17.2	24. 4	12. 2	39. 5
	9	11.6	46. 9	39. 9	△ 68.4	246. 1	△ 43.2	82. 1	△ 53.7	43. 9
次	10	7.9	△ 8.6	3. 9	41. 3	△ 50.9	6. 1	6. 2	6.8	2. 5
	11	2.0	△ 70.9	34. 5	78. 5	6. 2	5. 3	39. 2	△ 43.7	39. 7
	12	20.4	△ 8.5	8.6	22. 3	△ 43.5	△ 6.4	65. 9	△ 16.0	78. 5
累計	4月~12月	2.6	△ 3.2	△ 4.5	1. 3	△ 5.8	△ 18.7	5. 4	△ 12.4	32. 4

資料:国土交通省「建設工事受注動態統計」